

2016年2月政情（内政・外交）

1 内政

（1）ガルス前大統領府安全保障会議事務局長への措置緩和

11日、マルティネリ前政権下で盗聴に関与した疑いで、昨年1月より予防拘禁の形で身柄を拘束されていたアレハンドロ・ガルス前大統領府安全保障会議事務局長への措置が、心臓病を患う同氏の健康状態に配慮し、自宅軟禁のレベルまで引き下げられた。なお、本件調査は継続中。

（2）第3回地方分権化会議

18日、バレーラ大統領は全国の市長及び地区長との間で第3回地方分権化会議を実施し、現在推進中の地方分権化に際し、各自治体は投資計画を提出しなければならない旨、今後数ヶ月の間に各自治体の強化のための方針が確立される旨述べた。また、交付された資金を各自治体の教育及び保健分野のインフラ事業に活用するよう呼びかけた。

（3）フィンメッカニカ社との示談

23日、当国大統領府は、伊フィンメッカニカ社（セレックスES社、アグスタ・ウェストランド社、テレスパッツィオ社）との間で、2010年に署名された治安機器購入契約にかかる訴訟の解決に向け、沿岸警備用レーダー購入契約の無効化、デジタルマップ購入契約の停止解除ならびにパナマ政府に対する緊急移送用ヘリコプターの無償提供等を取り決めた合意に署名を行った旨発表した。

（4）デ・リマ前経済財務大臣の保釈

26日、前政権下で穀物類配布プログラムにおける不正に関与した疑いで昨年5月より予防拘禁が科されていたフランク・デ・リマ前経済財務大臣が、20万ドルの保釈金を支払い保釈された。なお、本件調査は継続中。

（5）バレーラ大統領の支持率低下

Dichter & Neira社が行った世論調査によれば、2月のバレーラ大統領の支持率は46%と過去最低を記録した。また、同調査の透明性に関する質問項目において、74%の回答者が「バレーラ政権は透明性に欠けている」旨回答した。

2 外交

（1）バシガルポ・パラグアイ司法大臣の当国訪問

3日、エンリケス内務大臣は、当国を訪問したバシガルポ・パラグアイ司法大臣との間で、刑務所制度等にかかる協力関係の強化について協議を行った。

（2）パナマ・アラブ首長国連邦外相会談

11日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は当国を訪問したアブダラー・アラブ首長国連邦外務大臣との間で、二国間の共同協力委員会設立に関する合意に署名した。また、両国大臣は相互に大使館を開設することについて関心を表明した。

(3) フェスティング・マルタ騎士団総長の当国訪問

ア 24日、バレーラ大統領はフェスティング・マルタ騎士団総長と会談し、パナマとマルタ騎士団の間での人道支援や資金協力等につき協議を行った。また、パナマは現在地域人道支援センターの設置を進めているところ、同分野で豊富な経験を有するマルタ騎士団との間で人的交流を希望する旨述べた。

イ 25日、インカピエ外務大臣代行はベーゼラガー・マルタ騎士団外務大臣と会談し、パナマに設置予定の国連地域センターへのマルタ騎士団の参加の重要性を説いた。

(4) サイン・マロ副大統領兼外務大臣のジュネーブ訪問

ア レンデルス・ベルギー外務大臣との会談

両国大臣は、二国間政策協議メカニズムの確立のための合意に署名した。また、二重課税防止条約締結のための交渉再開等につき協議した。

イ マーリキー・パレスチナ自治政府外務庁長官との会談

サイン・マロ外務大臣は、イスラエル・パレスチナ間の和平合意ならびに両国の国家確立についてのパナマの立場を説明した。また、パナマにおけるパレスチナ政府代表事務所設置の可能性につき協議を行った。

ウ ジャネリゼ・ジョージア外務大臣との会談

両国大臣は、昨年行われた二国間政策協議のフォローアップを行ったほか、国連人権理事会におけるコミットメントを共有した。

エ フセイン国連人権高等弁務官との会談

サイン・マロ外務大臣は、フセイン国連人権高等弁務官との間で、国連人権高等弁務官事務所のラテンアメリカ支部をパナマに設置するための覚書に署名した。